



令和5年8月4日

沖縄県医師会 会長 殿

沖縄労働局
労働基準部健康安全課長

放射線被ばく管理に関するマネジメントシステム導入支援のご案内

労働基準行政の推進につきましては、日頃より格別の御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

放射線被ばく管理につきましては、令和3年4月から眼の水晶体に受ける等価線量の限度値が引き下げられ、放射線業務従事者の健康障害を予防するため被ばく低減に取り組むことが求められています。

今般、医療機関を対象に標記マネジメントシステムの導入を支援することとしており、研修等を通じて放射線管理体制の強化を支援するものとなっております。

貴団体におかれましても、放射線被ばく管理に関するマネジメントシステムの重要性を御理解いただき、傘下の医療機関、健康診断機関等に対して周知いただきますようお願い申し上げます。

(担当) 沖縄労働局 労働基準部 健康安全課
労働衛生専門官 大村
電話098-868-4402

オンライン (Zoom) によるWeb開催

放射線被ばく管理に関する マネジメントシステム導入支援のご案内

令和3年4月から、眼の水晶体に受ける等価線量の限度値が引き下げられ、放射線業務従事者の健康障害を予防するため、被ばく低減に取り組むことが求められています。

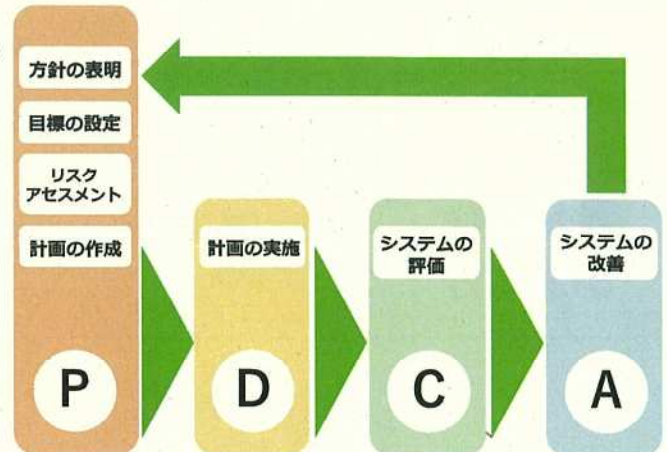
厚生労働省の第14次労働災害防止計画では、医療機関に対し、放射線被ばく管理に関するマネジメントシステム（放射線MS）の導入を支援することとしました。

本事業は、放射線業務を行う医療機関を対象として、研修等（詳細は裏面をご参照ください！）を通じて、放射線MSの導入による放射線管理体制の強化を支援します。

参加費は無料です。

放射線MSに取り組んでいる 医療機関の好事例

- ★放射線防護検討委員会の発足や、衛生委員会の委員に放射線管理室の職員が任命されるなど、体制の改善が図られた。
- ★放射線MSを活用して、「研修会の開催」、「リスクアセスメントの分類」、「線量バッジ装着率の向上」に取り組んでいる。
- ★研修会で学んだ文書例をもとに機関の実情に合わせながら、放射線MS運用に必要な書類等を作成している。



お申込み手順

Webサイト TOPメニューの「事業概要」と「お申込みについて」をよくご確認の上「参加申込み」よりお申込みください。

お問合せ先・特設Webサイト 最新情報はこちら

TEL

(03)3830-0720 放射線MS担当直通

Webサイト

<https://www.rad-ms.mhlw.go.jp/>

詳しくはこちら



Twitter

アカウント名

MS導入支援事務局

@rad_ms2022



詳しくはこちら



⇐ 個人ごとにプロテクタと線量バッジを管理している例

本事業は、厚生労働省の委託業務として、公益財団法人原子力安全技術センターが 関係機関の協賛・協力を得て実施するものです。

協賛：公益社団法人日本診療放射線技師会

一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会

協力：産業医科大学



	講演会	基礎研修	専門研修	報告会
主な対象	経営層の方	初めて参加の方	参加経験のある方	医療機関の方
主な内容	経営者に対する「経営層の目線での職員の放射線防護」インタビューと有識者等による討論	第1回 労働安全(法)と放射線MSの仕組 第2回 目標,計画の設定 第3回 監査,改善	内部監査の視点、計画、実施、報告、及び内部監査員の育成等	放射線MS導入、運用の好事例の報告と有識者等による討論
開催日時	9月12日(火) 13:00~16:30 (途中入退室可)	第1回 9月25日 第2回 10月 2日 第3回 10月23日 いずれも月曜日 13:00~16:00	10月30日(月) 13:00~16:00	2月28日(水) 13:00~16:00 (途中入退室可)
申込期限 ※要事前登録	9月7日(木)	10月19日(木)	10月26日(木)	令和6年1月頃 ご案内
日本診療放射線技師会の生涯教育システム(カウント付与)対象	---	対象	対象	---

※ 当日出席できなかった方は、後日Webサイトで録画映像の視聴が可能です。
 ※ イベントは全てZoom開催です。いくつでもお申し込みいただけます。
 ※ 参加費は無料です。
 ※ 都合により、予告なく内容等が変更になる場合がありますので予めご了承ください。